

第 16 回埼玉サイコネフロロジー研究会

腎不全・血液透析は苦痛と生活の制約を伴う代表的な慢性疾患の 1 つです。これに関係して、透析の患者さんには、さまざまな心理的問題や精神症状、行動の問題などが起こります。また、最近では透析の長期化、患者の高齢化などに伴う新たな問題も生じています。本研究会では、このような透析患者の心理と行動について、日常臨床で経験している具体的な問題を取り上げて、皆でよく話し合いたいと思っています。

守秘義務を持つ医療関係者で、この問題が重要だと考える方、関心のある方、日常臨床で困ることが多いと感じている方にぜひ参加していただきたいと思います。

第 16 回研究会の日程と場所が以下のように決まりましたのでご連絡します。また、第 14 回と第 15 回は認知症を併発している人の治療とケアについて検討しました。第 16 回のテーマはまだ決まっていません。ご意見など気楽に事務局までお寄せ願います。

日時：2017 年 10 月 31 日（火）、18 時 30 分～20 時

場所：ラフレ埼玉、参加費：1000 円

情報交換会：研究会終了後

事務局

埼玉医科大学かわごえクリニックメンタルヘルス科

住所：〒350-1123 川越市脇田本町 21-7、e-mail：horikawa@saitama-med.ac.jp

世話人：大島譲二（くぼじまクリニック）、小川智也（埼玉医大総合医療センター内科）、栗原怜（さいたま・つきの森クリニック）、桑折しのぶ（みさと健和クリニック）、後藤博道（埼玉友草加病院）、小林清香（埼玉医大総合医療センターメンタルクリニック）、齋藤卓（齋藤記念病院）、志賀浪貴文（埼玉医大総合医療センターメンタルクリニック）、竹内ゆり子（清瀬博済堂クリニック）、田辺明美（川越駅前クリニック）、堀川直史（埼玉医大かわごえクリニックメンタルヘルス科）、松田昭彦（松田内科クリニック）、松村治（南古谷クリニック）、村上綾子、渡辺俊之（東海大健康科学部社会福祉学科）

共催：埼玉サイコネフロロジー研究会、鳥居薬品株式会社